

- 1) 説明文
- ①この図は、福岡市内において、水防法の規定に基づく想定最大規模降雨が降った場合に浸水が想定される範囲やその深さを表したものです。しかし、雨の降り方によってはこの図に示されていない場所でも浸水する可能性があり、浸水深も深くなる場合がありますので注意してください。

②この図は、令和7年度末の福岡市（福岡市公共下水道の雨水排水区域内）の下水道の整備状況等を勘案して、想定し得る最大規模の降雨（1時間雨量130mm）に伴う雨水出水により内水氾濫が発生した場合に想定される浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。なお、本町の下水道施設の整備目標として定めている計画降雨（7年に1回程度の頻度で発生する降雨）は1時間雨量46mmであり、想定し得る最大規模の降雨はこれを大幅に超えるものです。

③この図において、水防法第14条の2第2項の規定により指定する雨水出水浸水想定区域は、公共下水道の排水区域のうち浸水が想定される区域（着色部）で示しています。

④このシミュレーションの実施にあたっては、洪水（河川の破堤または越水）による氾濫等を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際と異なる場合があります。

⑤このシミュレーションは、想定最大規模降雨による浸水を想定するため、排水先の河川の水位を想定される最高水位に設定しています。
- 2) 基本事項等
- ①作成主体：福岡市

②指定年月日：令和8年9月30日

③指定の根拠法令：水防法（昭和24年法律第193号）第14条の2第2項

④指定の前提となる降雨：想定最大規模降雨（1時間雨量130mm）

